

平成 28 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ  
機械工学インターンシップコース 1 月レポート  
「新学期の始まり」

新学期も始まり、留学生活も折り返しに入りました。今学期も英語の授業とインターンシップを一日置きで行っています。今学期からは英語の授業の他に一つコンピュータサイエンスの授業も取らせて頂けることになりました。授業スピードや一般の生徒とのコミュニケーションに苦戦しながらも、普段の英語のクラスとは異なる授業雰囲気を楽しんでいます。

### ライン作業

冬休み休暇が終わり、1月に入りましたが、日本でのように正月気分ではられません。3日から工場での勤務が始まりました。また、エンジニアの方々も今までになく忙しそうにしており、自分たちもライン作業に加わるようになりました。ライン作業は一見単純な作業に思えますが、機械の不調や加工前の部品の仕上がり具合などによって普段とは異なる指示を受けたり、定期的に機械の清掃を行ったりと、大変なことがわかりました。今までのプロジェクトでは機械内部の動作に注目して生産の効率化を考えてきていたので、人の手による部分での生産効率の重要性というものを実感しました。それと同時に、機械、情報と人という生産を支える基幹となる要素のつながりが見えてきました。一緒にラインで作業をしているチームとリンダのコンビがいつもあらゆる方法で自分をからかってくるので作業中でもあまり退屈はしません。ネズミのおもちゃを作業台に置かれた時は本当にびっくりしました…。



ラインでの作業

## Time with High School Students

現地の高校生と交流するTime with High School Studentsというイベントに参加しました。私自身は高校生の質問に答えたり、日本の文化について説明しました。また、高校生たちからは現役の高校生ということもあり、高校生活についての話を聞かせていただきました。高校生が一般科目とは違う興味のある分野を学べる環境があり、それを積極的に学ぼうとする姿勢を持っていることが印象的でした。



高校生たちとの写真